

(H29年1月)



《 庄内温海沖より鳥海山を望む 》

**皆様、明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。**

山形県と秋田県に跨がる標高2,236mの活火山。山頂に雪が積もった姿が富士山にそっくりなため、出羽富士（でわふじ）とも呼ばれ親しまれている。秋田県では秋田富士（あきたふじ）、山形県では庄内富士（しょうないふじ）とも呼ばれている。【ウィキペディア フリー百科事典 より抜粋】

[H28年5月](#)のトップページにて、流量観測でゴムボートに乗り作業している写真がありました。

今回は、そのゴムボートについて趣味の話題を書いてみたいと思います。ゴムボート（知ったかぶりをするとインフレーターボート）は、ある規定を超えると船舶免許が必要になります。

自動車の運転免許証があるように船にも船舶免許証なるものがあります。



おおまかに説明しますと、船の全長×0.9が3メートル以上あり、推進機関（船外機）が2馬力以上のものは必要となります。（詳しく内容を確認されたい場合は、インターネットにて小型船舶で検索してみてください。）

当社で流量観測に使用しているゴムボートには、免許が必要なタイプと不要なタイプの2艇があります。やはり流れが強い場合、2馬力では心もとなく流される恐れがありますので、9.8馬力の船外機を使用しております。

まだまだ語りたいのですが、このくらいで仕事に関する話はやめたいと思います。

さて、ゴムボで趣味ときたら、そうです！**つりです釣り！**

せっかくとった船舶免許、プライベートでも利用しなくちゃバチがあたりというもんです。

♪車に積んでどこまでも行けます♪

♪釣りは生涯の楽しみなんです♪

♪夢がふくらみます男のロマンです♪

等々、自分を思いっきり洗脳して、買っちゃいましたマイゴムボ。（もう4年前になるのか…）



マイゴムボは、免許が必要なタイプです。

免許不要艇と悩みましたが、購入前にメーカー主催の試乗会に足を運び、自分なりに悩み事を相談し助言等を頂き、自分スタイルにあったタイプが当マイゴムボとなったわけです。

そして、舞台は大海原、狙うは**百魚の王・真鯛!**

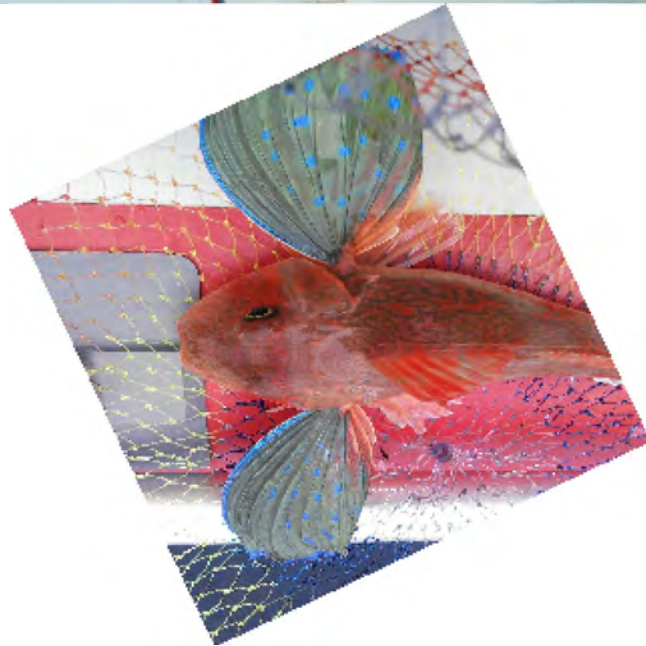
釣りは色々な釣法がありますが、私はカブラ釣りにて真鯛を狙います。

釣り方をザックリ説明しますと、カブラ（鉛に釣り針、ネクタイのついたもの）を海の底まで落としてやり、一定の速度でリールを巻いて、当たりが無ければ、また落としてやっの繰り返しです。難しい事ではないのですが、条件が揃わないと、これが釣れない…何にも釣れません。すぐ隣で同じ方法で釣っている友人にはきて、私にはこないなんて事は良くあることです。

それで、釣果はとといいますと…

ちゃんと真鯛さんは釣れました。

何年越しかは、置いときましょう。



釣りたての鯛は、特にブルーアイシャドーと桜色の魚体に散りばめられたブルーの斑点模様がキレイなものです。もっとキレイに撮りたかったのですが、なにせ『ハイポーズ』っていうわけにも行かず、暴れて背びれなどがゴムボに当るものなら『プス』っと簡単に穴が開きます。鯛の下は、ホウボウというお魚でこちらもキレイです。なぜか私にはよく釣れる高級魚です。

また、釣りで楽しみなのが、釣り上げた魚を美味しく頂くこと。自分で釣った魚は、格別であり何とも言えないものです。これぞ**釣り人の醍醐味!**ではないでしょうか。



さて、それではそろそろ失礼したいと思います。ゴムボートを海釣りやレジャー等で使用する場合に**大変重要**なことがあります。

◇自然を相手にしていることを忘れずに、絶対無理はしない事。

◇海には海（船舶）のルール、危険がありますので、十分な知識を身につけてから釣り等に行かれる事をお願いしたいと思います。

なんとも、とめどない内容となりましたが、最後までご一読頂きありがとうございました。

次回は、『山形県は日本一ラーメンの消費量が多いラーメン大国!!!』ラーメンネタもいいかも！



【うめんだ〜ここのラーメン】

記 : oba